

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 A 組~ B 組

使用教科書: (新地理総合)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、日本や世界の位置や特徴と地理的背景との結びつき、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
地図と地理情報システム 【知識及び技能】 身近な地図や地理情報システムについての知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地理情報システムを活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地理情報システムの便利さを知り、活用しようとする態度を養う。	【指導内容】 ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 ・地理情報システム	地図と地理情報システム 【知識及び技能】 身近な地図や地理情報システムについての知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地理情報システムを活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地理情報システムの便利さを知り、活用しようとする態度を深めることができる。	○	○	○	4
日本の都道府県や世界の国々の位置・特徴と地理① 【知識及び技能】 日本の都道府県の位置・特徴と、地理的背景とのかかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の都道府県の位置・特徴についてICT機器等を活用して調査し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の都道府県の多様な生活文化を尊重しようとする態度を深める。 定期考査	【指導内容】 ・日本の都道府県の位置・特徴 ・日本の都道府県の位置・特徴と地理的背景とのかかわり	【知識及び技能】 日本の都道府県の位置・特徴と、地理的背景とのかかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の都道府県の位置・特徴についてICT機器等を活用して調査し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の都道府県の多様な生活文化を尊重しようとする態度を深めることができる。	○	○		8
			○	○		1
日本の都道府県や世界の国々の位置・特徴と地理② 【知識及び技能】 世界の国々の位置・特徴と、地理的背景とのかかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の国々の位置・特徴についてICT機器等を活用して調査し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の国々の多様な生活文化を尊重しようとする態度を深める。 定期考査	【指導内容】 ・現代世界の国家と領域 ・世界の国々の位置・特徴 ・世界の国々の位置・特徴と地理的背景とのかかわり ・世界の地形と気候 ・世界の言語と宗教 ・世界の産業と人々の生活	【知識及び技能】 世界の国々の位置・特徴と、地理的背景とのかかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の国々の位置・特徴についてICT機器等を活用して調査し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の国々の多様な生活文化を尊重しようとする態度を深めることができる。	○	○	○	14
			○	○		1

2 学 期	<p>グローバル化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 グローバル化による世界のつながりについて具体的な事例をもとに理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近なグローバル化の具体的な事例を調査し、まとめ、地図等を活用して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な事象とグローバル化との関わりを見出そうとする。</p>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化と貿易 ・グローバル化と交通網 ・グローバル化と通信網 ・グローバル化と観光 ・探究課題(グローバル化に関わる探究) 	<p>【知識及び技能】 グローバル化による世界のつながりについて具体的な事例をもとに理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化の具体的な事例を調査し、まとめ、地図等を活用して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な事象とグローバル化との関わりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	18	
	定期考査			○	○		1	
	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題と国際協力にかかわる具体的な事例を調査し、まとめ、地図等を活用して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市居住問題 ・探究課題(地球的課題と国際協力に関わる探究) 	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 環境問題、資源エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市居住問題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題と国際協力にかかわる具体的な事例を調査し、まとめ、地図等を活用して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。</p>	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1		
3 学 期	<p>持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>【知識及び技能】 自然災害が発生する過程について理解を深めるとともに防災に関してハザードマップを活用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然災害が発生する過程について地形の特徴などを踏まえて思考・判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 防災や減災について我々ができる方策の理解を深める。</p> <p>定期考査</p>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・自然災害への備え ・生活圏の調査と地域の展望 	<p>【知識及び技能】 自然災害が発生する過程について理解を深めるとともに防災に関してハザードマップを活用することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然災害が発生する過程について地形の特徴などを踏まえて思考・判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 防災や減災について我々ができる方策の理解を深めることができる。</p>	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
							合計	78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 3 学年 A 組

使用教科書：（ 数 I 708 「高校数学 I」 実教出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
既習事項の復習 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、二次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとする。	指導内容 1 既習事項の復習 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 数と式、図形と計量、二次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査	学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	既習事項の復習 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、二次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとする。	指導内容 1 既習事項の復習 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 数と式、図形と計量、二次関数についての理解を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、適切に判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○
定期考査	学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1	

2 学期	<p>単元 データの分析 1節「データの分析」</p> <p>【知識及び技能】 統計の考えを理解し、データを表やグラフに整理したり、代表値を求めたりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、事象の特徴を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、データを整理したり、特徴をつかもうとする。</p>	<p>指導内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 統計とグラフ 2 度数分布表とヒストグラム 3 代表値 <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 統計の考えを理解し、データを表やグラフに整理したり、代表値を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じてデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、事象の特徴を表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、データを整理したり、特徴をつかもうとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	<p>単元 データの分析 1節「データの分析」</p> <p>【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解し、基本的な統計量を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、基本的な統計量を求めようとする。</p>	<p>指導内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データの散らばり 2 外れ値 3 相関関係 4 仮説検定の考え <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解し、基本的な統計量を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、基本的な統計量を求めようとしている。</p>	○	○	○	19
定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1	
3 学期	<p>課題研究</p> <p>【知識及び技能】 課題解決に向けて、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりし、結論を導く。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な手法を選択して分析を行い課題を解決したり、その過程や結果を考察し判断したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、課題を解決しようとする。</p>	<p>指導内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題の設定 2 調査・研究 3 発表・振り返り <p>教材 教科書・プリントなど</p>	<p>【知識及び技能】 課題解決に向けて、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりし、結論を導くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な手法を選択して分析を行い課題を解決したり、その過程や結果を考察し判断したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、課題を解決しようとしている。</p>	○	○	○	33
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
合計							117

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ B組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 体づくり運動・体力テスト 【知識及び技能】 体はくしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや、心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと必要性を理解しながら運動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようすることや、主体的に体づくり運動に取り組もうとしている。	・指導事項 準備体操やストレッチなどの簡単な運動を通して、生徒の自己の体を知り、継続して運動に取り組む大切さに気付く時間を設ける。 ・教材 東京アルファ、プリント、動画、記録用紙等 ・一人1台端末の活用 等 体力テストの入力・個々の体力の把握。	【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	B 陸上競技 【知識及び技能】 短距離走、リレーの局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があること、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・指導事項 記録をもとに、自己や仲間へ合った走り方を考える時間を設ける。 ・教材 ストップウォッチ、バトン、スタートフラッグ等 ・一人1台端末の活用 等 走りの記録や、早く走るためのポイント調べ等。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、測定の方法などについて理解している。短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡して次走者と前走者の距離を長くすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	C 球技（バドミントン） 【知識及び技能】 シャトルを相手のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすることや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 個人の能力を高めるだけでなく、シングルス、ダブルスの試合を通して、対人で行う運動の経験を積み重ねる。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やペアが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教えあおうとすること。健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	12

2・3 学期	<p>D 【選択球技】</p> <p><ネット型> バドミントン、卓球、バレーボール、テニス</p> <p>【知識及び技能】 サーブでは、ボールやシャトルをねらった場所に打つこと。ボールやシャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でボールやシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ネット型球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。</p> <p><ゴール型> バスケットボール、フットサル、タッチラグビー</p> <p>【知識及び技能】 ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引き付けてゴールから離れること。パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。ゴール前の空いている場所をカバーすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り競走したり、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返ること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ゴール型の球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・指導事項 各運動の試合を通して、個人やチームでの運動経験を増やし、生徒が協力しながら運動できる時間を増やす。</p> <p>・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。</p>	<p>【知識・技能】 役割に応じたボールやシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームが考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ネット型球技の学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。</p>	○	○	○	52
	<p>E 体育理論(3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方</p> <p>【知識及び技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること、また、その楽しみ方は個人のスポーツに対する欲求によっても変化することを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 生徒が体の機能や競技による特性と関連付けて学習できるようにする。</p> <p>・教材 スライド「生涯スポーツの見方・考え方」「ライフスタイルに応じたスポーツ」、プリント、動画等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。</p>	<p>【知識・技能】 スポーツには、乳幼児かえあ高齢期に至るライフステージごとに体格や体力の変化などに見られる身体的特徴、精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴、人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとする。</p>	○	○	○	2
合計							78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 A 組～ B 組

使用教科書：「Amity English CommunicationⅡ」（開隆堂）

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ ハ ヤ ）	話 （ キ ）	書					
単元【Okinawa】 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形、助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介しようとしている。	・本単元の文法事項 ・沖縄についてやり取りしたり、旅行で行ってみたい場所について紹介したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○				○					1
単元【The History of Japanese Food】 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介しようとしている。	・本単元の文法事項 ・食事についてやり取りしたり、友だちの好きな食べ物について紹介したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査	・単元の内容理解を確認する。	○				○					1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科

家庭

科目

家庭総合

教科：

家庭

科目：

家庭総合

単位数：

2 単位

対象学年組：第 3 学年 A組、B組

使用教科書：（「未来へつなぐ家庭総合365」 教育図書）

教科

家庭

の目標：

【知識及び技能】人間の発達と家庭生活を総合的に捉え、生活における基礎的な技術と知識を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会における生活上の課題を見つけ、解決策を見つけながら課題解決の力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会構築のため、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

科目

家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等について、生活を総合的に捉え、基礎的な知識と技能を身に付ける	家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等における課題を見つけ、解決策を考えながら課題解決の力を養う	よりよい社会構築を目指し、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	B編 第2章 衣生活と健康 【知識及び技能】健康で安全な衣生活を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】健康で安全な衣生活を踏まえ、衣生活の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】健康で安全な衣生活を主体的に考察する	【指導事項】 ・衣服の役割って何だろう？ ・衣服はどうやってつくられている？ ・衣服の計画、管理を知ろう ・今後の衣生活を考えよう ・衣服実習 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】健康で安全な衣生活を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】健康で安全な衣生活を踏まえ、衣生活の改善を考察している 【学びに向かう力、人間性等】健康で安全な衣生活を主体的に考察している	○	○	○	24
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
2 学期	B編 第1章 食生活と健康 【知識及び技能】健康で安全な食生活を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】健康で安全な食生活を踏まえ、食生活の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】健康で安全な食生活を主体的に考察する	【指導事項】 ・なぜごはんを食べるの？ ・私たちは何を食べているの？ ・安全に食べよう ・健康に食べよう ・おいしく食べよう ・これからも食事を楽しむために 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】健康で安全な食生活を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】健康で安全な食生活を踏まえ、食生活の改善を考察している 【学びに向かう力、人間性等】健康で安全な食生活を主体的に考察している	○	○	○	34
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
3 学期	A編 第4章 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や社会背景、生活介護方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】高齢社会の背景や相手を尊重した生活介護を考察する 【学びに向かう力、人間性等】高齢者福祉の現状を受け止め、高齢者の自立と尊厳を尊重する	【指導事項】 ・高齢期ってどういう時期？ ・高齢者とふれ合ってみよう ・高齢化する日本を生きる 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・体験実習キット ・タブレット端末	【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や社会背景、生活介護方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】高齢社会の背景や相手を尊重した生活介護を考察する 【学びに向かう力、人間性等】高齢者福祉の現状を受け止め、高齢者の自立と尊厳を尊重する	○	○	○	6
	A編 第5章 共生社会と福祉 【知識及び技能】共生社会の在り方や背景、関係法規や制度を理解する 【思考力、判断力、表現力等】よりよい共生社会の在り方を考察する 【学びに向かう力、人間性等】多様な立場や価値観を持つ人々との関わりと生活を尊重する	【指導事項】 ・共生って何だろう？ ・ノーマライゼーションとは 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】共生社会の在り方や背景、関係法規や制度を理解している 【思考力、判断力、表現力等】よりよい共生社会の在り方を考察している 【学びに向かう力、人間性等】多様な立場や価値観を持つ人々との関わりと生活を尊重している	○	○	○	4
	C編 第3章 持続可能なライフスタイルと環境 【知識及び技能】環境問題、SDGsに関する基礎的な知識や背景を理解する 【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会のための消費行動を振り返り、考察する 【学びに向かう力、人間性等】環境を踏まえた生活設計を身近な問題として受け止める	【指導事項】 ・未来の地球環境は大丈夫？ ・自分の生活を豊かにしよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】環境問題、SDGsに関する基礎的な知識や背景を理解している 【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会のための消費行動を振り返り、考察している 【学びに向かう力、人間性等】環境を踏まえた生活設計を身近な問題として受け止めている	○	○	○	4
	学年末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
	D編「学校家庭クラブ」は学校行事と関連させ、D編「ホームプロジェクト」は各分野を総合させ、それぞれ生徒の実態に応じて内容を選定し、適宜実施する					合計 78	

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

商業 科目 情報処理

教科：商業

科目：情報処理

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～

B組

使用教科書：（教科書 商業715「最新情報処理」）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展することを考える

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成すること

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における情報を扱うことについて体系的に理解し関連する技術を身に付けている。	企業における情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指し自ら学び、情報を適切に扱うことを主体的・協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 【知識及び技能】 情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用した情報の処理や活用的重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか	○	○	○	2
	2節 情報モラルと法規 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 法令を遵守しようとする態度を身に付けたか	○	○	○	2
	3節 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 企業における適切な情報処理について理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業における情報処理について自ら学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 関連する技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報デザインについて理解する 【思考・判断・表現】 情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせる 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとする	○	○	○	2
	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 活用する基本的な技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考・判断・表現】 ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成 【主体的に学習に取り組む態度】 機能を活用することができる	○	○	○	4
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 【知識及び技能】 情報通信ネットワークを利用 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス情報の検索 【学びに向かう力、人間性等】 活用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 効率的な検索ができるか 【思考・判断・表現】 情報の価値や正確性について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持つ	○	○	○	4
	3節 インターネットの活用 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 電子メールの利用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電子メールを適切に利用できるか 【思考・判断・表現】 電子メールの危険性などについて理解 【主体的に学習に取り組む態度】 電子メールのマナーなどについて興味を持つ	○	○	○	4
	4節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 情報化社会に参画する 【思考力、判断力、表現力等】 個人が身につけるべきセキュリティ管理 【学びに向かう力、人間性等】 セキュリティ管理の方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 【知識及び技能】 情報の重要性を理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報を分析 【学びに向かう力、人間性等】 傾向を把握する能力	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	8
	2節 関数を利用した表の作成 【知識及び技能】 基本的な操作 【思考力、判断力、表現力等】 計算式及び関数について理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて適切な表の作成する技術	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基本的な操作について理解 【思考・判断・表現】 関数等について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組む	○	○	○	8
3節 グラフの作成 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを利用 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの種類や構成要素、特色を理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に合ったグラフ作成方法の理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 グラフの特徴を理解 【思考・判断・表現】 グラフの構成要素を理解 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフから読み取れる内容を理解	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 A組～B組

使用教科書：（人間と社会）

使用教材：（人間と社会テキスト、プリント、レポート、急手当・防犯・清掃グッズ等）

単元の目標：

【知識及び技能】 予測できない社会の変化や、新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、多面的・多角的に考察する力や考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元名：（地域・社会の一員として、私たちができること）

単元の評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。	自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。	地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「支えあう社会」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・道徳教育、キャリア教育、体験活動に関するガイダンス ・演習 「5マナーと社会のルールについて考える」 「1 1 支えあう社会」 ・事前学習	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 「体験学習①」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・災害救助活動（AED・消火・通報・搬送訓練） ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・葛飾区地域清掃（パトラン） ・事後学習 ・レポート ・アクティブラーニング ・活動報告会 ・演習 「1 2 地域社会を築く」	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学 期	C 単元 「地域社会を築く」 【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。	・演習 「1 2 地域社会を築く」 ・事前学習 ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・文化祭での古着の回収（ふくのわプロジェクト） ・葛飾区地域清掃（パトラン）	【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学期	<p>D 単元 「体験活動②」</p> <p>【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学習 ・レポート ・アクティブラーニング ・活動報告会 <p>・事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な職業人へのインタビュー ・ペットボトルキャップの収集・整理（子どもワクチン支援） ・古着の寄贈（ふくのわプロジェクト） ・葛飾区地域清掃（パトラン） 	<p>【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
3 学期	<p>E 単元 「働くことの意義」</p> <p>【知識及び技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の意義や注意点について考える。 ・葛飾区地域清掃（パトラン） ・体験活動を振り返り、レポートにまとめる。 <p>・職種やインタビュー内容について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な職業人へインタビューを行う。 <p>「人間と社会」テキストを活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後の私について考える。 ・グループワークでまとめを報告する発表を行う。 <p>1年間の学習を振り返りレポートにまとめるとともに、体験活動を通して感じたこと、考えたことを発表する。</p>	<p>【知識・技能】 身近な地域で起きている問題について、情報を収集しながら、整理・分析をすることで、新しい知識を身に付けたり、様々な考え方が複雑に絡み合っている状況を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、物事を広い視野から多面的・多角的にとらえ、課題解決のための話し合いの中で、相手の意見を尊重しながら、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域の一員として、他者と協働しながら幅広い人間関係を築くとともに、自己のよさや可能性を生かすために、前向きに自分の将来について考え、主体的に体験活動に取り組もうとしている。</p>				11
							合計
							39